※令和３年度以前入学生用

学校番号	２０６

令和５年度　地歴科

教科	地歴科	科目	日本史Ｂ	単位数	４単位	年次	３年次
使用教科書	詳説日本史Ｂ　改訂版（山川出版社）						
副教材等	最新日本史図表　五訂版（第一学習社） 日本史重要語句 Check List 2022　（啓隆社）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・講義形式だけでなく、自ら考え、発言できるような授業形態もとります。
・単語の暗記ではなく、歴史的事実に関する原因・結果の因果関係を理解し、また、その歴史事実が現在の自分にどうかかわるのかを考えます。
・資料の読み取りなども積極的に行います。
・中学校で習ったことが基礎知識としてあることを前提に進めます。教科書は事前に目を通して置いてください。

２　学習の到達目標

我が国の歴史の展開を諸資料に基づき地理的条件や世界の歴史と関連付けて総合的に考察させ、我が国の伝統と文化の特色についての認識を深めさせることによって、歴史的思考力を培い、国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養う。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:資料活用の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	我が国の歴史の展開に対する関心と課題意識を高め、意欲的に追究するとともに、国民としての自覚と国際社会に主体的に生きる日本人としての責任を果たそうとする。	我が国の歴史の展開から課題を見いだし、我が国の形成の歴史的過程と生活・文化の地域的特色を、世界史的視野に立ち多面的・多角的に考察し、国際社会の変化を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。	我が国の歴史の展開に関する諸資料を収集し、有用な情報を適切に選択して、効果的に活用している。	我が国の歴史の展開と生活・文化の地域的特色についての基本的事柄を、国際環境と関連付けて総合的に理解し、その知識を身に付けている。
評価方法	提出課題 ワークシート	定期テスト 提出課題	ワークシート	定期テスト 提出課題

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和３年度以前入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	原始・古代の日本と東アジア	・日本文化のあけぼの ・律令国家の形成 ・貴族政治と国風文化	○	○ ○	○ ○	 ○ ○	a:原始社会の特色及び古代国家と社会や文化の特色に対する関心と課題意識を高めている。 b:遺跡や遺物、文書など様々な歴史資料の特性を多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 古代国家の推移、文化の特色とその成立の背景を、東アジアとの関係の変化と関連付けて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c:原始・古代社会の文化の特色に関する諸資料を収集し、有用な情報を適切に選択している。 d:古代国家の形成と展開、文化の特色とその背景についての基本的な事柄や中世社会の萌芽についての基本的な事柄を、隋・唐・朝鮮半島など東アジア世界との関係の変化と関連付けて理解し、その知識を身に付けている。	定期考査 提出課題 ワークシート

※令和３年度以前入学生用

1学期	中世の日本と東アジア	・中世社会の成立 ・武家社会の成立	○	○ ○	 ○	○ ○	a:中世国家の社会や文化の特色に対する関心と課題意識を高めている。 b:中世国家の形成過程とその成立、また中世社会の仕組み、さらにその多様な展開、文化の特色などから課題を見出し、宋・元・明など東アジア世界との関係と関連付けて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c:中世国家と社会や文化の特色に関する情報を読み取ったり図表などにまとめたりしている。 d:中世社会の形成過程から成立、多様な展開へと至る社会の仕組み、また同様に発展する文化の特色についての基本的な事柄を、宋・元・明や朝鮮半島など東アジア世界との関係と関連付けて理解し、その知識を身に付けている。	定期考査 提出課題 ワークシート

※令和３年度以前入学生用

2学期	近世の日本と世界	・幕藩体制の確立 ・幕藩体制の展開 ・幕藩体制の動揺	○	○	○	○ ○ ○	a：近世国家と社会や文化の特色に対する関心と課題意識を高めている。 b：幕藩体制の変容と近代化の基盤の形成から課題を見出し、欧米諸国のアジアへの進出と関連付けて多面的・多角的に考察するとともに、その過程や結果を適切に表現している。 c：近世国家と社会や文化の特色に関する情報を読み取ったり図表などにまとめたりしている。 d：近世国家の形成過程とその特色や社会の仕組みについての基本的な事柄を、ヨーロッパ世界との接触やアジア各地との関係と関連付けて理解し、その知識を身に付けている。 近世の都市や農山漁村における生活や文化の特色とその成立の背景、幕藩体制の変容と近代化の基盤の形成についての基本的な事柄を、欧米諸国のアジアへの進出と関連付けて理解し、その知識を身に付けている。	定期考査 提出課題 ワークシート

※令和３年度以前入学生用

2学期	近代日本の形成と世界	・近代国家の成立	○	○	○	○	a：近代国家の形成と社会や文化の特色に対する関心と課題意識を高めている。 b：明治維新以降のわが国の近代化の推進過程、立憲国家の成立過程、近代産業の発展過程などと、欧米諸国やアジアの関係と関連付けて多面的・多角的に考察するとともに、その過程や結果を適切に表現している。 c：近代国家の形成と社会や文化の特色に関する情報を読み取ったり図表などにまとめたりしている。 d：明治維新以降のわが国の近代化の推進過程についての基本的な事柄を、開国と幕府の滅亡、文明開化など欧米の文化・思想の影響や国際環境の変化と関連付けて総合的に理解し、その知識を身に付けている。 我が国の立憲国家としての展開についての基本的な事柄を、条約改正、日清・日露戦争とその前後のアジアおよび欧米諸国との関係の推移と関連付けて総合的に理解し、その知識を身に付けている。 近代産業の発展の経緯について総合的に理解し、その知識を身に付けている。	定期考査 提出課題 ワークシート

※令和３年度以前入学生用

3学期	両世界大戦期の日本と世界	・二つの世界大戦とアジア	○	○	○	○	a：近代国家の展開と社会や文化の特色に対する関心と課題意識を高めている。 b：第一次世界大戦前後の対外政策や大戦が国内の経済・社会に及ぼした影響から課題を見出し、国際社会の中の日本の立場と関連付けて多面的・多角的・公正に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c：近代国家の展開と社会や文化の特色に関する諸資料を収集し、有用な情報を適切に選択している。 d：背政党政治の展開、大衆社会の特色とその成立の背景についての基本的な事柄を、政治や社会運動の動向などと関連付けて総合的に理解し、その知識を身に付けている。 二つの大戦を通じた対外政策の推移と日本の国内政治の推移、戦時体制の強化と国民への影響などを、アジア近隣諸国との関係と関連付けて総合的に理解し、その知識を身に付けている。	定期考査 提出課題 ワークシート

※令和３年度以前入学生用

3学期	現代の日本と世界	・占領下の日本 ・高度成長の時代 ・激動する世界と日本	○	○	○	○ ○	a:現代の社会や国民生活の特色に対する関心と課題意識を高めている。 b:我が国の再出発およびその後の政治や対外関係の推移から課題を見出し、占領政策と諸改革などについて国際社会の変化を踏まえて多面的・多角的・公正に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c:現代の社会や国民生活の特色に関する情報を読み取ったり図表などにまとめたりしている。 d:我が国の再出発およびその後の政治や対外関係の推移についての基本的な事柄や、日本経済の発展と国民生活の変化についての基本的な事柄を、国際関係と関連付けて総合的に理解し、その知識を身に付けている。	

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:資料活用の技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点
・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。